



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,747	△0.8	301	71.9	309	60.8	209	65.2
28年3月期第2四半期	6,802	9.8	175	△14.4	192	△10.6	126	△12.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 228百万円(68.9%) 28年3月期第2四半期 135百万円(△7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	25.10	—
28年3月期第2四半期	15.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,881	4,605	46.6
28年3月期	9,631	4,443	46.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,605百万円 28年3月期 4,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—	8.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,088	△2.7	677	5.5	677	1.9	443	1.9	53.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	8,345,370株	28年3月期	8,345,370株
29年3月期2Q	14,577株	28年3月期	14,262株
29年3月期2Q	8,330,944株	28年3月期2Q	8,331,419株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用環境の改善が見られるものの、賃金の伸び悩みなどから個人消費の持ち直しの動きが弱まり、また海外の経済状況に不透明感が見られるなど、回復基調が足踏み状態となっております。

当社が属する食品業界におきましては、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増、増税の影響等により可処分所得が減少し、消費者の生活防衛意識がますます強まり、また国内の人口が減少に転じていることから、今後国内需要が先細っていく懸念があるなど、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が前年同期比4.7%増と好調に推移し、また調味料関連事業においても販売が好調だったものの、鶏卵相場が前年同期に比べ大きく低下したことにより液卵の販売価格が低下したため、前年同期比0.8%減の6,747百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が順調に推移したことに加え原料仕入価格が低下したことや、調味料関連事業において販売が好調だったこと等により、営業利益は同71.9%増の301百万円、経常利益は同60.8%増の309百万円、親会社株主に帰属する四半期純益は同65.2%増の209百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定額以上確保する努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、販売数量が前年同期比4.7%増と好調に推移したものの、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比13.8%（約31円）低く推移したため連動する液卵の販売価格も低下し、液卵売上高は前年同期比3.7%減の5,672百万円となりました。また、加工品売上高は仕入商品の販売増等により同38.3%増の304百万円、その他売上高は同20.6%増の141百万円となりました。この結果、合計の売上高は、同1.8%減の6,119百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量が順調に推移したことや鶏卵相場が低く推移したため原料仕入価格が低下したこと等により、前年同期比73.0%増の254百万円となりました。

#### ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売が好調に推移していることに加え、新商品による新規顧客の獲得や当社グループ内での輸入粉卵の委託加工等の販売が増加したこと等により、前年同期比15.1%増の677百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の増加や工場の作業効率化による経費の削減等により、前年同期比92.7%増の42百万円となりました。

#### ③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比1.2%減の12百万円となり、セグメント利益は同27.2%減の4百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は9,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円増加しました。流動資産は4,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品の増加168百万円、現金及び預金の減少412百万円、受取手形及び売掛金の減少187百万円等によるものであります。

固定資産は5,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ575百万円増加しました。主な要因は、建物及び構築物の増加704百万円、機械装置及び運搬具の増加279百万円、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の減少433百万円等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加しました。流動負債は2,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の増加136百万円、支払手形及び買掛金の減少66百万円、未払消費税等の減少74百万円、流動負債のその他に含まれる設備支払手形の減少246百万円等によるものであります。

固定負債は2,328百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加230百万円等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益209百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が142百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.1%から46.6%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ66百万円増加し997百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ684百万円増加し165百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上303百万円、売上債権の減少187百万円等により資金が増加し、たな卸資産の増加185百万円、仕入債務の減少66百万円、法人税等の支払い105百万円等により資金が減少したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ685百万円増加し879百万円となりました。これは主に、関東事業部の工場増設等に伴う有形固定資産の取得による支出877百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ246百万円減少し300百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入400百万円、短期借入金の純増加額180百万円、長期借入金の返済による支出212百万円、配当金の支払額66百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月9日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,948	1,535
受取手形及び売掛金	2,057	1,870
商品及び製品	755	923
仕掛品	60	52
原材料及び貯蔵品	267	293
繰延税金資産	25	36
その他	23	103
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	5,133	4,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,004	1,709
機械装置及び運搬具（純額）	753	1,032
土地	1,886	1,886
その他（純額）	711	276
有形固定資産合計	4,355	4,904
無形固定資産	28	24
投資その他の資産		
投資有価証券	94	124
その他	31	27
貸倒引当金	△12	△8
投資その他の資産合計	113	143
固定資産合計	4,497	5,072
資産合計	9,631	9,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685	619
短期借入金	1,517	1,654
未払法人税等	116	119
未払消費税等	78	4
賞与引当金	64	69
役員賞与引当金	—	21
その他	631	459
流動負債合計	3,095	2,947
固定負債		
長期借入金	1,447	1,678
長期未払金	567	567
繰延税金負債	55	59
その他	21	22
固定負債合計	2,092	2,328
負債合計	5,187	5,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	3,597	3,739
自己株式	△6	△6
株主資本合計	4,413	4,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	49
その他の包括利益累計額合計	30	49
純資産合計	4,443	4,605
負債純資産合計	9,631	9,881



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,802	6,747
売上原価	5,843	5,613
売上総利益	959	1,133
販売費及び一般管理費	784	832
営業利益	175	301
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	7	12
建設協力金免除益	14	—
その他	3	3
営業外収益合計	26	16
営業外費用		
支払利息	9	8
その他	0	—
営業外費用合計	9	8
経常利益	192	309
特別利益		
補助金収入	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	202	303
法人税、住民税及び事業税	75	109
法人税等調整額	0	△15
法人税等合計	75	94
四半期純利益	126	209
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	126	209

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	126	209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	19
その他の包括利益合計	8	19
四半期包括利益	135	228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135	228
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	202	303
減価償却費	154	156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	21
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	9	8
固定資産除売却損益 (△は益)	0	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△218	187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△507	△185
仕入債務の増減額 (△は減少)	105	△66
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36	△74
その他	△12	△80
小計	△291	278
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△218	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	△518	165
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△224	△204
定期預金の払戻による収入	224	204
有形固定資産の取得による支出	△196	△877
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	3	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194	△879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	407	180
長期借入れによる収入	400	400
長期借入金の返済による支出	△208	△212
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△50	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	547	300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△164	△412
現金及び現金同等物の期首残高	1,096	1,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	931	997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,228	561	6,790	12	6,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	26	28	—	28
計	6,230	588	6,818	12	6,831
セグメント利益	147	21	169	6	175

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	169
「その他」の区分の利益	6
四半期連結損益計算書の営業利益	175

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,118	616	6,734	12	6,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	61	61	—	61
計	6,119	677	6,796	12	6,809
セグメント利益	254	42	296	4	301

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	296
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業利益	301

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。